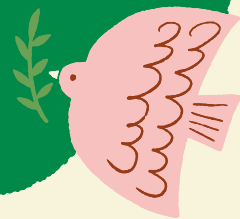


これからのまちを考えよう
住むコト 2025

こどもまんなか まちづくり



都市化により、私たちの住環境や生活スタイルが大きく変化するまちで、こどもたちが安心して楽しく過ごせる居場所はどのような場なのでしょう。

今年度、「住むコト」はこどもたちの未来のための「こどもまんなかまちづくり」をテーマに勉強会やフィールドワークを実施。

公開セミナーでは都市計画やこども環境などが専門の後藤智香子先生にお話を伺いました。



みんなの広場
(砧公園)

Q: 日本のこどもたちを取り巻く住環境は？

A: 「子どもの権利条約」が1994年に批准され、「子ども基本法」が2022年に制定されたものの、国や自治体のこども未来戦略は模索中です。国も、例えば、公園のリノベーションでのこどもにやさしい公園づくりなどを支援しています。

Q: 今のこどもたちの遊びについて教えてください。

A: 集団の遊びを通してこどもは自分の能力を高めていきます。「3間」（時間、空間、仲間）＋「方法」が遊びを成立させる要素ですが、最近、個人での遊びが増え、遊び相手も1人か2人になっています。遊び環境（3間＋方法）の変化で、こどもの姿が地域の中で見えにくくなっています。

Q: 3間＋方法の他に、何かありますか。

A: 物理的環境の「空間」に加えて、心理的環境としてこどもたちを見守る「大人たち」の存在も必要です。どのような公園がほしいと思うか、こどもの声を聞くプロセスデザインや専門のマネージメント人材も必要となっています。



後藤智香子先生
東京都市大学準教授

◀ 『住むコト』 ▶

2019年8月から、地元の再開発の課題やみどりの保全、景観、建物の安全性など、「環境の質」や「生活の質」に関わるまちの空間や居場所づくりなどをテーマにまちづくりの活動をしています。

■主な活動■

定例会（月1回）/まちづくりについての意見交換会/
区内外のまちづくりの現場をフィールドワーク/
まちづくりを考える公開セミナー開催/パネル展示報告@「生活展」

